

令和6年度の専攻医採用と 令和7年度の専攻医募集について

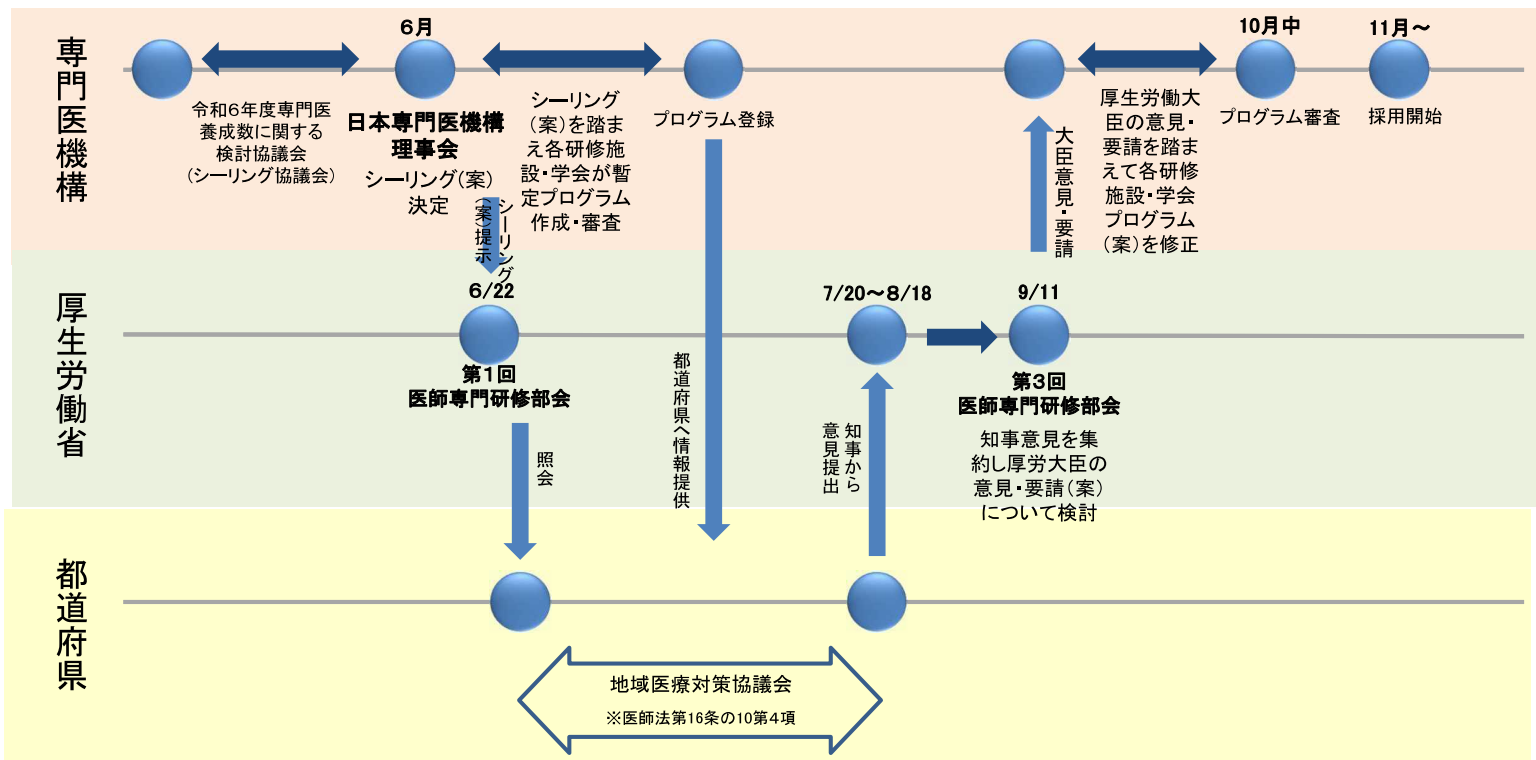
1

1. 令和6年度の専攻医採用結果について

2

令和6年度専門研修プログラムの募集スケジュール

令和5年



令和6年度専門研修プログラムシーリングについて

【令和6年度のシーリングの実施状況について】

- シーリングの効果検証については、医師専門研修部会よりその必要性の指摘を受けたことを踏まえて、令和5年度に検証を開始することとしたため、シーリング数についても、拙速に更新するのではなく、同検証の結果を踏まえて検討すべきとの考えより、プログラムのシーリング数については、令和5年度と同数とした。
- <特別地域連携プログラム> 研修プログラム基幹施設が、特別地域連携プログラムの連携先を検討し、設定しやすいように、都道府県と協力し、連携先の施設の候補一覧を作成、公表する予定とした。
- <子育て支援> 厚生労働大臣からの意見を踏まえて、今後の重要課題として日本専門医機構の将来構想検討委員会で引き続き検討していくこととした。具体的には、主な意見として、子育て支援は原則全ての研修施設が検討すべきことであることから、各研修施設の基本的な施設要件とすること等を検討すること、また仮にシーリングに関連して子育て支援を検討する場合は、地域偏在を助長しない方法での支援を検討することとした。
- 令和6年度の専攻医は、全てのシーリング対象の都道府県・診療科において、シーリング数内で採用された。

令和6年度専攻医採用におけるシーリング

	シーリング対象 の診療科数	内科	小児科	皮膚科	精神科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	形成外科	リハビリ テーション科
北海道	1											20+3+〔6〕		
青森県	0													
岩手県	0													
宮城県	0													
秋田県	0													
山形県	0													
福島県	0													
茨城県	0													
栃木県	0													
群馬県	0													
埼玉県	0													
千葉県	0													
東京都	12	398+123+〔52〕	98+19+〔11〕	54+18+〔11〕	74+12+〔14〕+〔5〕	104+13+〔9〕	52+16+〔6〕	44+11+〔3〕		41+7+〔6〕	36+7+〔5〕	75+15+〔11〕	30+10+〔6〕	16+4+〔15〕
神奈川県	1			14+1+〔1〕										
新潟県	0													
富山県	0													
石川県	2				9+0+〔2〕	10+0+〔1〕								
福井県	0													
山梨県	0													
長野県	0													
岐阜県	0													
静岡県	0													
愛知県	1							16+1+〔1〕						
三重県	0													
滋賀県	1		7+0+〔0〕											
京都府	9	62+18+〔8〕	9+0+〔2〕	8+2+〔2〕		16+1+〔1〕	14+3+〔2〕	8+2+〔1〕	19+0+〔0〕		14+0+〔0〕	11+2+〔4〕		
大阪府	8	200+10+〔21〕				41+2+〔4〕	22+4+〔5〕	17+2+〔1〕	18+1+〔0〕		14+3+〔2〕	30+2+〔6〕	15+2+〔2〕	
兵庫県	4			13+0+〔0〕			12+1+〔0〕	14+0+〔0〕					13+0+〔2〕	
奈良県	0													
和歌山県	2	20+3+〔2〕				9+0+〔1〕								
鳥取県	1	15+1+〔2〕												
島根県	0													
岡山県	5	55+7+〔6〕	14+0+〔0〕		10+1+〔2〕						9+0+〔0〕	14+3+〔6〕		
広島県	0													
山口県	0													
徳島県	1	16+4+〔2〕												
香川県	0													
愛媛県	0													
高知県	0													
福岡県	8	118+29+〔15〕		11+1+〔0〕	17+5+〔3〕+〔1〕	33+10+〔3〕	11+0+〔2〕				15+0+〔2〕	20+4+〔4〕	7+0+〔2〕	
佐賀県	1				8+0+〔1〕									
長崎県	4	33+4+〔4〕	9+0+〔0〕			7+0+〔0〕						6+0+〔0〕		
熊本県	3	33+0+〔3〕			11+0+〔2〕	8+0+〔1〕								
大分県	0													
宮崎県	0													
鹿児島県	0													
沖縄県	2				7+0+〔1〕							8+0+〔0〕		

※都道府県の各診療科の数値は通常募集プログラム数＋連携プログラム数＋【特別地域連携プログラム数】(精神科のみ:精神保健指定医連携枠)

5

専攻医採用実績数 都道府県別一覧表

令和6年3月28日時点 確定値

都道府県	H30年 (2018)	R1年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)
1 北海道	296	317	305	303	342	296	298
2 青森県	61	72	68	72	71	67	79
3 岩手県	62	65	71	77	74	80	54
4 宮城県	159	142	172	144	181	170	192
5 秋田県	60	49	55	55	47	52	48
6 山形県	55	66	57	55	54	54	60
7 福島県	86	76	87	106	86	79	104
8 茨城県	130	142	134	151	138	154	154
9 栃木県	120	121	122	130	147	149	124
10 群馬県	79	78	84	105	103	102	99
11 埼玉県	228	256	343	317	381	366	378
12 千葉県	267	332	381	388	395	397	410
13 東京都	1,824	1,770	1,783	1,748	1,749	1,832	1,791
14 神奈川県	497	516	546	607	639	665	652
15 新潟県	100	95	123	99	109	90	101
16 富山県	54	53	52	51	50	50	45
17 石川県	109	122	113	118	131	97	86
18 福井県	39	50	57	45	44	53	51
19 山梨県	37	57	53	66	58	58	58
20 長野県	112	109	124	103	121	111	100
21 岐阜県	98	85	111	113	105	92	115
22 静岡県	114	150	173	181	171	154	204
23 愛知県	450	476	520	552	571	612	585
24 三重県	102	94	102	89	91	89	88
25 滋賀県	90	89	87	94	113	96	115
26 京都府	284	269	260	283	295	272	262
27 大阪府	649	652	683	669	684	676	733
28 兵庫県	338	381	454	452	478	490	499
29 奈良県	103	97	115	104	122	116	126
30 和歌山県	72	67	90	67	89	79	83
31 鳥取県	45	55	53	45	48	43	50
32 島根県	37	44	46	61	28	40	57
33 岡山県	215	221	243	221	244	221	207
34 広島県	148	141	145	144	155	161	159
35 山口県	45	46	59	61	55	58	62
36 徳島県	60	65	48	52	41	38	44
37 香川県	48	59	37	53	48	40	47
38 愛媛県	88	65	85	74	72	57	64
39 高知県	50	36	44	60	58	55	49
40 福岡県	450	444	424	451	470	434	475
41 佐賀県	58	53	53	59	61	50	48
42 長崎県	84	111	87	95	102	90	85
43 熊本県	104	122	113	111	89	111	101
44 大分県	64	61	58	63	80	74	69
45 宮崎県	37	52	45	56	54	64	46
46 鹿児島県	94	107	105	118	102	92	84
47 沖縄県	108	85	112	115	102	99	113
計	8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454

※青いセルは**医師少数県**、黄色いセルは**医師多数県**(令和6年度医師確保計画に用いられる医師偏在指標に基づく)

専攻医採用実績数 診療科別一覧表

令和6年3月28日時点 確定値

診療科		平成30年 (2018年) 採用実績	平成31年 (2019年) 採用実績	令和2年 (2020年) 採用実績	令和3年 (2021年) 採用実績	令和4年 (2022年) 採用実績	令和5年 (2023年) 採用実績	令和6年 (2024年) 採用実績
1	内科	2,670	2,794	2,923	2,977	2,915	2,855	2,850
2	小児科	573	548	565	546	551	526	532
3	皮膚科	271	321	304	303	326	348	297
4	精神科	441	465	517	551	571	562	570
5	外科	805	826	829	904	846	835	807
6	整形外科	552	514	671	623	644	651	739
7	産婦人科	441	437	476	475	517	481	482
8	眼科	328	334	344	329	343	310	331
9	耳鼻咽喉科	267	282	266	217	256	203	206
10	泌尿器科	274	255	323	312	310	338	343
11	脳神経外科	224	252	247	255	237	217	219
12	放射線科	260	234	247	268	299	341	343
13	麻酔科	495	489	455	463	494	466	486
14	病理	114	118	102	95	99	93	90
15	臨床検査	6	19	14	21	22	36	18
16	救急科	267	286	279	325	370	408	472
17	形成外科	163	193	215	209	253	234	226
18	リハビリテーション科	75	69	83	104	145	136	153
19	総合診療	184	179	222	206	250	285	290
計		8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454

※黄緑色のセルはシーリング対象の診療科

令和6年度専攻医募集 都道府県診療科別一覧表 ①

令和6年3月28日時点 確定値

	1 北海道		2 青森県		3 岩手県		4 宮城県		5 秋田県		6 山形県		7 福島県		8 茨城県		9 栃木県		10 群馬県		11 埼玉県		12 千葉県	
	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数	2023年 採用数	2024年 シーリング 数
内科	70	74	23	15	33	20	64	58	14	24	20	16	24	24	55	50	45	38	25	23	95	111	127	109
小児科	15	15	3	5	3	2	8	5	2	2	2	1	3	5	6	11	12	10	9	10	33	26	19	19
皮膚科	11	14	1	4	5	2	2	4	2	1	0	2	1	5	4	5	3	3	2	11	7	8	9	9
精神科	15	10	3	3	5	3	8	6	2	3	3	5	8	13	9	8	15	13	11	12	28	32	21	20
外科	23	27	6	9	6	5	13	23	4	2	3	10	9	8	15	14	10	6	9	8	34	22	29	25
整形外科	27	23	6	4	5	5	9	12	4	4	5	5	6	11	12	12	9	3	2	8	21	32	33	49
産婦人科	19	20	1	2	3	2	9	12	4	0	4	4	2	4	7	8	7	7	5	4	18	21	9	13
眼科	9	10	6	3	1	0	9	8	1	1	1	3	3	3	4	3	2	2	2	2	5	11	18	17
耳鼻咽喉科	12	6	1	2	1	2	2	7	1	2	2	0	1	4	0	3	1	3	2	1	7	6	5	7
泌尿器科	9	14	1	8	6	2	5	9	2	4	0	3	3	5	7	6	7	6	7	2	7	10	17	18
脳神経外科	8	10	0	2	2	1	5	4	4	0	4	1	1	5	2	3	3	3	4	2	9	9	11	7
放射線科	11	10	2	5	0	1	9	11	1	1	3	1	4	2	6	4	3	5	5	7	23	12(1)	26	18
麻酔科	16	29(3)(6)	18(1)	3	2	4	2	14	10	3	2	3	6	5	2	7	5	2	1	5	20	27	24	18
病理	9	3	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	3	2	2	1	1	1	1	3	4	3
臨床検査	3	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0	0	0
救急科	13	14	3	5	0	1	4	11	3	0	2	3	3	7	4	4	6	9	8	7	17	15	19	37
形成外科	10	5	2	0	1	4	3	1	0	0	3	2	1	1	3	5	7	6	3	2	11	14	12	12
リハビリ科	4	3	0	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	5	2	0	2	1	0	8	11	3	12
総合診療科	12	20	6	7	5	2	2	6	2	1	0	3	3	5	9	8	7	5	2	3	8	9	12	17
計	296	298(1)	67	79	80	54	170	192	52	48	54	60	79	104	154	154	149	124	102	99	366	378(1)	397	410

	13			14			15			16			17			18			19			20			21			22			23		
	東京都			神奈川県			新潟県			富山県			石川県			福井県			山梨県			長野県			岐阜県			静岡県			愛知県		
	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シーリング数	2024年採用数			
内科	697(16)(420)	573(123)(62)	523(106)(19)	216	200	28	27	16	18	32	33	21	14	21	16	35	23	34	43	45	62	168	172										
小児科	125(6)(6)	128(19)(11)	110(19)(3)(4)	33	34	6	8	4	2	2	1	3	4	2	5	8	4	7	8	12	11	33	27										
皮膚科	70(7)	83(18)(11)	73(18)	16(1)	16(1)(1)	13(1)	2	1	1	2	6	6	2	2	2	1	2	4	5	3	4	5	39	16									
精神科	100(8)(1)(2)(5)	106(12)(14)(3)	86(11)(7)(2)(1)	44	50	2	6	4	2	7(2)	11(2)	8(2)	6	4	3	7	7	8	3	4	11	8	28	31									
外科	176	164	68	39	10	8	5	4	13	7	3	5	4	4	6	10	9	11	11	22	40	45											
整形外科	113(7)	126(13)(9)	119(11)	31	52	9	11	3	2	7(1)	11(1)	8	2	0	7	4	5	9	5	9	12	17	52	64									
産婦人科	143		134	29	24	6	4	0	0	4	2	4	2	2	2	7	6	5	5	6	7	37	24										
眼科	68(10)	74(16)(6)	68(15)	24	20	2	5	2	0	2	2	2	1	3	4	1	2	6	3	2	7	24	27										
耳鼻咽喉科	55(7)	58(11)(3)	48(4)	7	13	5	5	1	1	3	0	1	0	4	0	3	3	2	3	2	5	15	18(1)(1)	16									
泌尿器科	72		70	15	20	2	0	2	2	1	2	2	2	4	5	3	4	4	3	1	8	4	28	14									
脳神経外科	43(2)	54(7)(6)	41(1)	9	17	2	2	0	0	4	3	2	1	0	0	3	0	0	2	2	1	15	25										
放射線科	48(7)(5)	48(7)(5)	50(7)(5)	31	21(1)	0	5	3	1	6	3	0	2	2	2	1	3	2	3	7	12	22	27(1)										
麻酔科	75(1)(1)	101(15)(11)	78(1)(1)	46	52	4	5	0	3	3	5	0	2	0	2	5	5	2	7	7	9	37	27										
病理	18(2)		22	7	3	1	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	2	4	5	3	6										
臨床検査	6		4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4	1	0	1	0	1	0										
救急科	76		85	47	44	5	6	3	4	2	2	2	2	1	2	7	4	3	5	6	8	12	17										
形成外科	42(4)(2)	46(10)(6)	41(10)	19	25	3	2	3	4	3	1	0	2	1	1	2	2	0	2	5	6	15	10										
リハビリ科	24(3)(3)	35(4)(15)	23(4)(1)	6	10	2	2	0	0	0	0	0	2	0	1	2	2	0	0	7	9	11	13										
総合診療科	41		39(1)	16	14	1	4	3	0	0	1	2	3	0	3	11	7	4	4	2	6	32	24										
計	1832(180)(47)(1)(5)	1791(207)(36)(2)(7)	665(1)	652(2)	90	101	50	45	97(3)	86(2)	53	51	58	58	111	100	92	115	154	204	612	585(1)											

※ 内訳については、()内は通常プログラム数、【 】内は特別地域連携プログラム数、< >内は精神保健指定医連携プログラムの数。 ※ []内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域精神師等の数

※ 2024年シーリング数および採用数の内訳が「10」の場合、非表示とする。

	24			25			26			27			28			29			30			31			32			33			34			35			
	三重県			滋賀県			京都府			大阪府			兵庫県			奈良県			和歌山県			鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県			
	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数	2023年採用数	2024年シールリング数					
内科	38		27	43		38	78(16)	88(18)(6)	78(16)			219(50)	231(100)(21)	211(50)(2)	182		187(1)	43		41	24(4)	25(3)(2)	26(8)	11(1)	18(1)(2)	14(2)	7	22	50(2)	88(7)(6)	58(2)(4)	45		51	10		14
小児科	2	6	2	7	6		10(1)	11(2)	8		49		49	33	29	6		7	3		5	3		3	0	4	12(1)	14	9(1)	5		7	4		5		
皮膚科	3	1	4		4	11	12(2)(2)	10(2)	41		34	14	13	13	6		7	3	5		4	2		2	2	3	6		0	4		6	5		0		
精神科	1	4	4		6	13		14	47		52	19	22	13		9	4		11	10		3	4	2	9	13(1)(2)	11(1)	6		6	1		4				
外科	13	9	6		9	23		19	70		88	42	25	5		5	6		8	1		6	2	1	28		29	12		11	5		8				
整形外科	5	3	7	5		18(1)(1)	18(1)(1)	18(1)	44(1)(2)	47(2)(4)	43(1)(1)	40	48	6	14	5	10(1)	1	2		4	3	0	23		15	15		12	7		5					
産婦人科	4	4	4	3	11		15	30		53	18		15	2		11	4		3	3		1	1	1	8		5	7		6	4		3				
眼科	6	4	5		6	14	19(3)(2)	18(3)	25(3)	31(4)(5)	28(4)	12	13(1)	11	2		6	0		3	1		2	2	2	5		7	4		7	1		2			
耳鼻咽喉科	2	1	0		2	8	11(2)(1)	6	15	20(2)(1)	7	5	14	11	0		0	3		4	1		3	0	0	5		10	2		5	4		2			
泌尿器科	2	5	3		5	13	19	13	22(1)	19(1)	22(1)	15		12	6		5	3		4	2		1	4	3	8		9	10		6	1		4			
脳神経外科	2	2	0		0	3		8	16		22	11		12	3		0	1		0	0		2	1	0	5		5	5		1	3		1			
放射線科	3	7	3	3	15(1)	14	14	15	19(3)(2)	15(1)	13	23	5		9	3		3	1		3	1	0	2	3	9	9	9	6		5	4		4			
麻酔科	3	7	3	12	11	17(2)(4)	11	23	38(2)(6)	31	24	38	1		2	6		4	3		2	4	1	18(3)(1)	23(3)(6)	10	13		8	2		2					
病理	0	0	1	1	4		2	6		5	6		4	1		0	1		1	0		2	0	0	1		5	2		0	0		0				
臨床検査	0	1	0		0	3		0	3		0	2		0	0		0	0		0	0		0	0	0	0		1	0		1	0		0			
救急科	3	2	1	11	14		7	29		38	20	19	4		3	4		2	1		3	3	4	12		11	8		7	2		4					
形成外科	0	1	2	0	9	9	15	19(2)(2)	17(1)	12	15(2)	12	2		3	3		2	0		2	0	2	10		3	3		4	0		0					
リハビリ科	1	1	1	0	5		5	8		8	12	10	1		1	2		0	0		0	0	0	5		5	8		10	1		1					
総合診療科	1	3	7	4	11		7	3		12	10	8	10		7	2		2	1		0	5	9	6		5	6		6	4		3					
計	89		88	96		115	272(17)(3)		262	676(14)(22)		733(16)(3)	490		499	116		126	79(4)		83(6)	43(1)		50(2)	40	57		221(3)(1)(3)	207(3)(5)	161		159	58		62		

	36			37			38			39			40			41			42			43			44			45			46			47		
	徳島県			香川県			愛媛県			高知県			福岡県			佐賀県			長崎県			熊本県			大分県			宮崎県			鹿児島県			沖縄県		
	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数	2023年採用数	2024年シールリング数	2024年採用数			
内科	9[3]	22[4][2]	15[6]	13	15	11	22	14	11	146(27)	162(29)[15]	153(28)[3]	13	19	32[1]	41[40][4]	34[1]	30[8]	36[3]	34[6]	23	28	23	14	25	26	24	19								
小児科	0	2	2	4	6	6	3	3	12	28	2	0	5[2]	9	3	2	6	4	0	3	4	4	5	4	8											
皮膚科	2	1	1	2	0	6	3	4	10	12(1)	14(1)	4	1	4	2	6	2	3	5	2	1	5	2	1	0											
精神科	2	3	6	5	4	2	5	3	25(2)[2]	26(30)[3](1)	25(4)[2]	10[1]	9[1]	9	4	12	13[2]	5[1]	5	4	3	3	5	1	7[1]	8[1]	7									
外科	3	3	1	2	3	5	8	2	47	43	5	0	9	11	10	14	5	7	6	4	14	8	5	12												
整形外科	1	6	3	1	5	3	5	6	41(8)[1]	48(10)[3]	43(8)[1]	2	4	3[2]	7	4[2]	1	9[1]	8	9	3	3	6	7	9	11	15									
産婦人科	2	0	3	3	6	1	1	0	20	34	2	2	4	3	6	6	0	0	4	1	1	3	5	2												
眼科	0	0	0	4	2	3	2	2	14[2]	13[2]	11	0	1	3	2	5	4	1	1	3	0	5	5	1	2											
耳鼻咽喉科	2	0	0	0	2	3	0	1	8	6	1	2	5	1	3	0	1	2	0	0	1	2	2	1												
泌尿器科	0	1	0	1	2	2	0	2	12	15	0	0	4	5	6	3	2	3	3	4	4	6	3	1												
脳神経外科	2	3	1	3	1	0	1	5	18	11	0	1	3	0	3	0	0	1	1	0	3	3	1	0												
放射線科	0	4	2	2	7	4	3	2	16[1]	17[2]	16[1]	3	2	1	0	6	3	3	3	0	1	1	2	5												
麻酔科	5	1	4	3	5	4	2	3	20[1]	28(4)[4]	20	6	3	4[1]	6	5[1]	3	2	6	4	1	3	2	5	8	8	8									
病理	2	1	0	0	0	0	1	0	4	4	0	2	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3												
臨床検査	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0												
救急科	5	3	0	0	1	1	6	3	13	27[1]	0	1	2	1	3	8	7	4	2	3	8	4	12	13												
形成外科	2	1	3	1	0	0	0	0	7	9[2]	7[1]	1	0	2	2	3	4	5	2	1	0	1	2	3	4											
リハビリ科	0	0	0	1	1	0	1	1	6	4	0	0	1	1	3	2	0	0	2	1	2	2	0	3												
総合診療科	1	0	1	0	1	1	0	1	14[2]	14	1	1	1	1	3	3	1	1	1	3	1	4	0	9	10											
計	38[3]	44[8]	40	47	57	64	55	49	434(37)[5][4]	475(41)[4][5]	50[1]	48	90[6]	85[4]	111[8]	101[7]	74	69	64	46	92	84	99[1]	113												

※ 内訳について、()内は連携プログラム数、[]内は特別地域連携プログラム数、< >内は精神保健指定医連携枠の数。 ※ []内は採用数のうちシールリング対象外で採用となった地域特設医師等の数

※ 2024年シールリング数および採用数の内訳が「0」の場合、非表示とする。

特別地域連携プログラム採用実績

令和6年3月28日時点 確定値

診療科		令和5年 (2023年) 採用実績	令和6年 (2024年) 採用実績
1	内科	21 ⁽¹⁾	21
2	小児科	8	3
3	皮膚科	0	0
4	精神科	15 ⁽¹⁾	9
5	外科	0	0
6	整形外科	2	2
7	産婦人科	0	0
8	眼科	2	0
9	耳鼻咽喉科	0	0
10	泌尿器科	0	0
11	脳神経外科	0	0
12	放射線科	6	6
13	麻酔科	1 ⁽¹⁾	0
14	病理	0	0
15	臨床検査	0	0
16	救急科	0	0
17	形成外科	2	0
18	リハビリテーション科	3	1
19	総合診療	0	0
	計	60 ⁽³⁾	42 ⁽⁰⁾

	内科 ※	足下充足率	小児 科 ※	足下充足率	精神 科	足下充足率	整形 外科	足下充足率	放射 線科	足下充足率	リハ ビリ テー ション 科	足下充足率	総計
山形県	2	0.70/0.66											2
福島県	1	0.71/0.69											1
茨城県	9	0.68/0.70			2	0.62/0.69			5	0.53/0.53			16
栃木県					1	0.65/0.72							1
埼玉県	6	0.69/0.70	2	0.74/0.78			2	0.69/0.70	1	0.50/0.56	1	0.65/0.68	12
千葉県			3	0.76/0.77									3
新潟県	4	0.72/0.70			6	0.68/0.67							10
総計	22 (21)		5 (3)		9		2		6		1		45 (42)

足下充足率:2016年/2018年

※内科、小児科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。
()内は実人数

11

令和6年度専攻医採用のまとめ

【シーリングの効果について】

- 都道府県別の効果については、医師多数の大都市圏の医師数が減少し、その周辺県で増加している例を認めるが、必ずしも全国全ての医師少数県における専攻医数の増加には至っていない。
- 令和5年度厚生労働科学特別研究において、シーリングの効果検証を実施しており、当該研究結果を踏まえて、改めてシーリングの在り方の検討が必要。

【特別地域連携プログラムについて】

- 令和5年度から導入しており、令和5年度は60名、令和6年度は42名の採用があった。
- 令和6年度採用の専攻医における連携先は、都道府県別では茨城県が最多の16名、診療科別では内科が最多の21名、次いで精神科9名、放射線科6名の採用があった。
- 専攻医の期間に医師少数地域で地域医療を経験できる貴重なプログラムであり、来年度も専攻医の積極的な応募を期待したい。

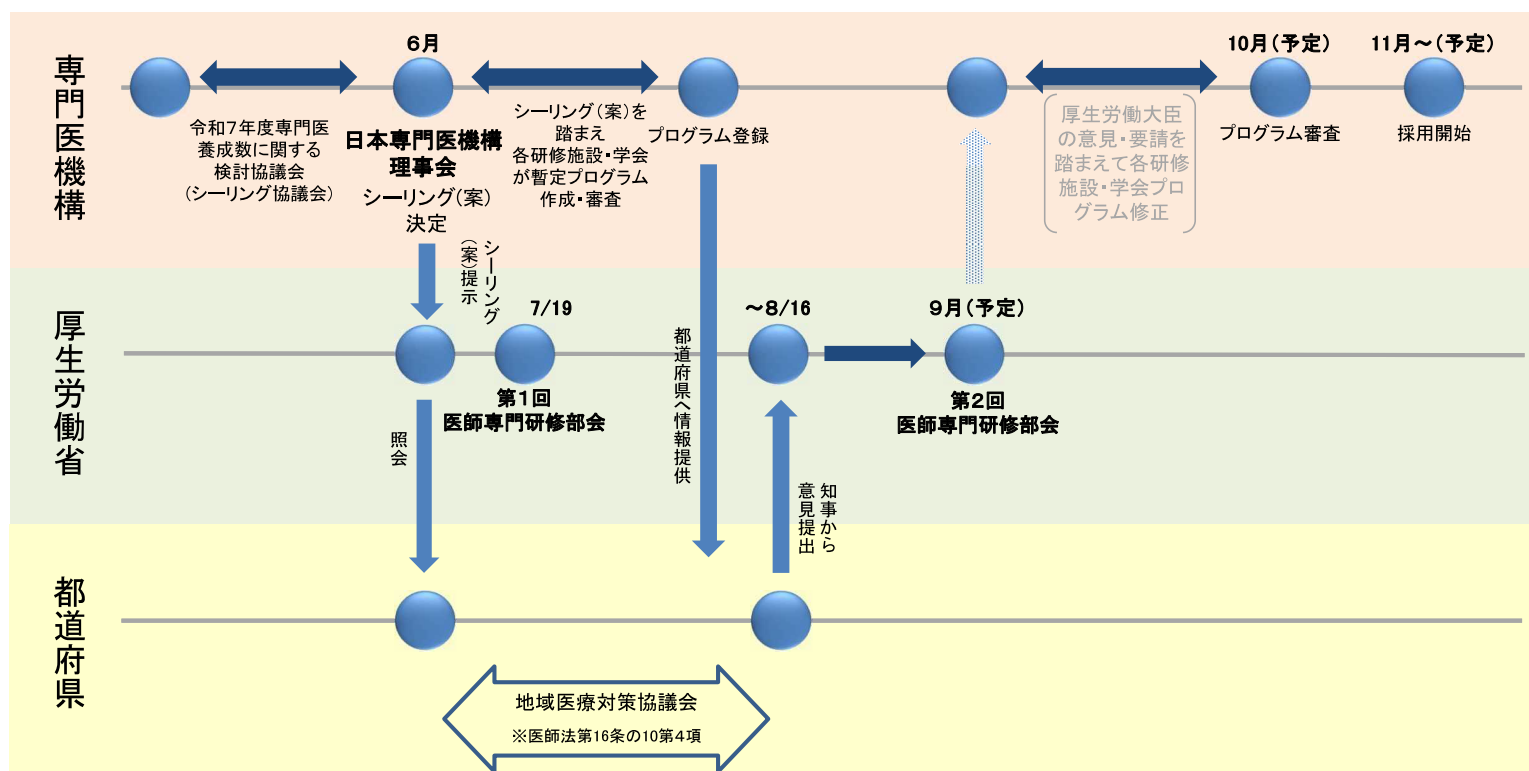
12

2. 令和7年度の専攻医募集について

13

令和7年度専門研修プログラム募集のスケジュール(案)

令和6年



14

シーリング数について(案)

- シーリングの効果検証の実施については、本部会よりその必要性の指摘を受けており、日本専門医機構としても昨年度から厚生労働科学研究などにおいて検証を開始し、制度改善の検討を進めている。そのため、シーリング数についても、拙速に更新するのではなく、同検証の結果を踏まえて検討すべきであると考えている。
 - 特別地域連携枠においては、設置要件である足下充足率が0.7以下(小児は0.8以下)の都道府県にある医師少数区域にある施設が、研修施設としての要件を満たす施設が少なく、設置するのが困難との意見が複数の領域学会からあがった。
 - 医師少数県の大学病院や基幹病院等に専攻医を派遣すると、その大学病院や基幹病院等から医師少数区域の施設に他の医師を派遣することができるのではないか。
 - これらのことから、2025年度のシーリング数は2024年度と同じ数値とし、特別地域連携枠の設置要件として、既存の足下充足率が0.7以下(小児は0.8以下)の都道府県にある医師少数区域にある施設の他に、当該連携先都道府県の医師少数区域の病院Bに新規に医師を1年以上派遣する研修施設A(前年度に派遣実績がある場合は、それに加えて新たに派遣する)としてはどうか。(※)
- (※) 研修施設Aは、当該要件で派遣を受けた専攻医数、前年度と当該年度に研修施設Aから病院Bに派遣した医師数を明記し、派遣した翌年に派遣の実績報告書を提出することとする。この場合、具体的な派遣実績については、県の地域医療対策協議会が確認する。なお、派遣実績が確認できない場合は、翌年度の「特別地域連携枠」について該当分を減ずる。
- また、医師の働き方改革を踏まえ、令和5・6年度開始プログラムの専攻医募集時に、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設として、特別地域連携プログラムの連携先となった施設であって、引き続き、連携が必要となる、B水準の特定労務管理対象機関としてはどうか。

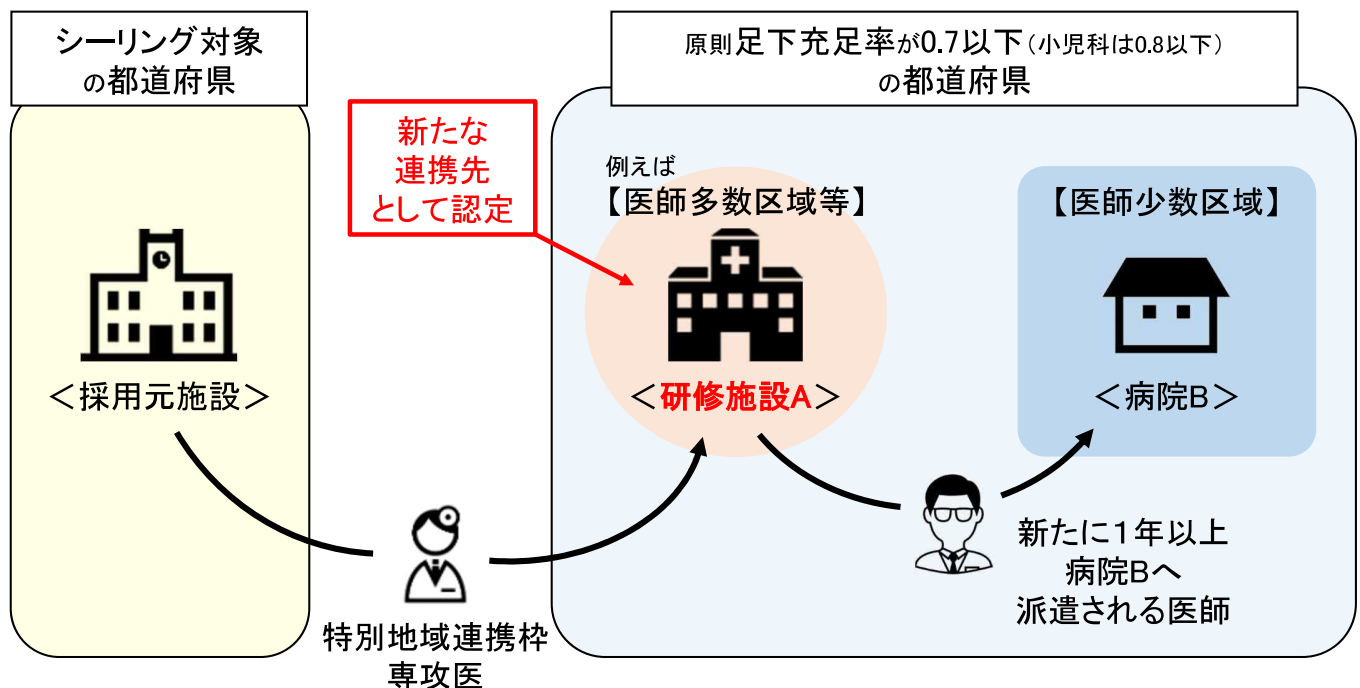
15

特別地域連携枠の連携先の新たな要件について

【特別地域連携プログラムの連携先の新たな要件】

医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する研修施設であること(前年度に派遣実績がある場合は、それに加えて新たに派遣する)。

なお、特別連携枠プログラムにおいて、特別連携枠専攻医登録数と新規に派遣する医師少数区域の病院の前年度と当該年度の派遣数を明記し、翌年派遣の実績報告書を提出することとする。この場合、具体的な派遣は、県の地域医療対策協議会が確認する。なお、新たな派遣が確認できない場合は、翌年度の「特別地域連携枠」を該当分減ずる。



16

2025年度専攻医募集におけるシーリング(案)の基本的な考え方

- 足下医師充足率が低い都道府県のうち、医師少数区域等にある施設に加え、新たに医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する施設を連携先とする特別地域連携プログラムを通常募集プログラム等のシーリングの枠外として別途設ける。

(特別地域連携プログラムを加えた2023～2025年シーリング)

特別地域連携
プログラム



都道府県限定分

連携
プログラム



通常募集
プログラム

(2023～2025年シーリング)

【連携先】

原則 足下充足率※1が0.7以下(小児科については0.8以下)

の都道府県のうち、

- 医師少数区域にある施設※2
- 令和5・6年度開始プログラムの専攻医募集時に年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設※3 であり引き続き連携が必要となる、B水準の特定労務管理対象機関
- 医師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する研修施設

【採用数】

原則 都道府県限定分と同数 全診療科共通で1年以上

【研修期間】

注: 特別地域連携プログラムの採用数については、診療科別の個別事情も考慮し設定

- 通常募集及び連携プログラムにおけるシーリング数の計算は2024年度と同様とする。
- シーリング対象の都道府県別診療科が「連携プログラム」を設定するためには、通常プログラムの地域貢献率※4を原則20%以上とし、通常プログラムにおいて医師が不足する都道府県や地域で研修する期間をあらかじめ確保する。
- 連携プログラムにおける連携先(シーリング対象外の都道府県)での研修期間は、全診療科共通で1年6ヶ月以上とする。
- 連携プログラム採用数＝連携プログラム基礎数※5 ×
$$\begin{cases} 20\% & : (\text{専攻医充足率} \leq 100\% \text{の診療科の場合}) \\ 15\% & : (100\% < \text{専攻医充足率} \leq 150\% \text{の診療科の場合}) \\ 10\% & : (\text{専攻医充足率} > 150\% \text{の診療科の場合}) \end{cases}$$
- 連携プログラム採用数の基礎数の5%は、「都道府県限定分」として足下充足率が0.8以下の医師不足が顕著な都道府県で研修を行うプログラムとして採用。

※1 足下充足率＝2016足下医師数/2024必要医師数、もしくは、2018足下医師数/2024必要医師数

※2 小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域にある施設

※3 宿日直許可の取得、タスクシフト／シェアの推進などの取組を行ってもなお、地域医療を維持するために年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設であって、指導医・指導体制が確保され、かつ、適切な労働時間となるように、研修・労働環境が十分に整備されている施設。なお、その際、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える又は超えるおそれがある医師の労働時間の短縮に資する分野の専攻医が連携先において研修を行う場合に限り設置可能とする。

※4 地域貢献率＝
$$\frac{\sum(\text{各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」および「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間})}{\sum(\text{各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間})}$$

※5 連携プログラム基礎数＝(過去3年の平均採用数－2024年の必要医師数を達成するための年間養成数)

参考

令和6年度シーリング計算方法のまとめ①

シーリングの対象

- 「2018年医師数」が「2018年の必要医師数¹⁾」および「2024年の必要医師数²⁾」と同数あるいは上回る都道府県別診療科
- 例外として、外科・産婦人科³⁾、病理・臨床検査⁴⁾、救急・総合診療科⁵⁾の6診療科はシーリングの対象外とする

1,2)各診療科別勤務時間等(「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果を基に作成)及び医師需給分科会第3次中間取りまとめにおけるマクロ需要推計の推計値(需要ケース2)、DPCデータを用いた疾病別診療科別患者数シェア等を利用して算出 3)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由 4)専攻医が著しく少数である等の理由 5)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

シーリング数(通常募集プログラム)

「2018年～2020年の3年間の平均採用数」から
(「2018年～2020年の3年間の平均採用数」－「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」)×20% を除いた数とする

連携(地域研修)プログラム

- 上記のシーリング案による急激な変化によってもたらされる影響への配慮などの理由から、専攻医不足の都道府県との「連携(地域研修)プログラム」を追加可能。但し、連携プログラムの設定には、連携プログラムを除く令和3年度募集プログラムの地域貢献率が原則20%以上が必須条件。
- 地域貢献率は次の式で計算する。
$$\frac{\sum(\text{各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」および「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間})}{\sum(\text{各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間})}$$

定義

○ 連携(地域研修)プログラム

シーリング対象外の都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする。
ただし、都道府県限定分に関しては、以下の条件が整った場合のみ募集可能とする

○ 連携(地域研修)プログラムのうち都道府県限定分

2016年または2018年の足下充足率(＝足下医師数/必要医師数)が0.8以下であり、医師不足が顕著である都道府県の施設において1年6ヵ月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能とする

計算方法

- 「2018年～2020年の3年間の平均採用数」－「2024年の必要医師数を達成するための年間養成数」に対して、診療科ごとの「専攻医充足率」に応じて以下の割合を乗じた数とする

専攻医充足率 ≤ 100%の場合:	20%	(内科・整形外科・脳神経外科)
100% < 専攻医充足率 ≤ 150%の場合:	15%	(眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科)
150% ≤ 専攻医充足率の場合:	10%	(小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科)
- 上記のうち都道府県限定分を5%分とする

令和6年度シーリング計算方法のまとめ②

シーリング数の下限

- シーリング数合計(通常＋連携)の下限を、2020年の95%とし、95%に満たない数を連携プログラム(都道府県限定分)として追加する。

精神保健指定医連携枠

- 精神科について、指定医連携枠を設け、シーリング数の合計が2020年のシーリング数(通常＋連携)と同数になるように追加する。
- 指定医連携枠で採用を行う場合の要件は下記の通りとする。
 - ・指定医が相対的に少ない下位1/3の都道府県※と連携を組み、研修期間の半分(1年6ヵ月)を当該都道府県で研修を行うこと。
 - ・専攻医が研修を行う連携先に常勤の指導医が1名以上いること。
- 精神科専門医の更新要件として、指定医業務の実績をいれ、指定医業務を行っていない者の更新要件を厳しくすることを前提とする。

※ 日本精神神経学会が算出した業務換算指定医数に基づき、下記の都道府県とする。
青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、千葉県、福井県、長野県、静岡県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、長崎県

採用数が少数の県に対する例外

- 2018年～2020年の採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を、2018年～2020年の採用数のうち最も大きい数とする。
- 過去3年の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科はシーリングの対象外とする。

特別地域連携プログラム

- 原則足下充足率(※¹⁾)が0.7以下(小児科については0.8以下)の都道府県のうち、医師少数区域(小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域)にある施設、もしくは、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設(※²⁾)を連携先とするプログラムを別途設けることを可能とする。
※¹ 2016年または2018年の足下充足率(2016足下医師数/2024必要医師数、もしくは、2018足下医師数/2024必要医師数)
※² 宿日直許可の取得、タスクシフト/シェアの推進などの取組を行ってもなお、地域医療を維持するために年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超えるおそれがある医師が所属する施設であって、指導医・指導体制が確保され、かつ、適切な労働時間となるように、研修・労働環境が十分に整備されている施設。なお、その際、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える又は超えるおそれがある医師の労働時間の短縮に資する分野の専攻医が連携先において研修を行う場合に限り設置可能とする。
- 枠数は、原則連携プログラムのうち都道府県限定分と同数とし、連携先における研修期間は全診療科共通で1年以上とする。

シーリングの対象外とする医師

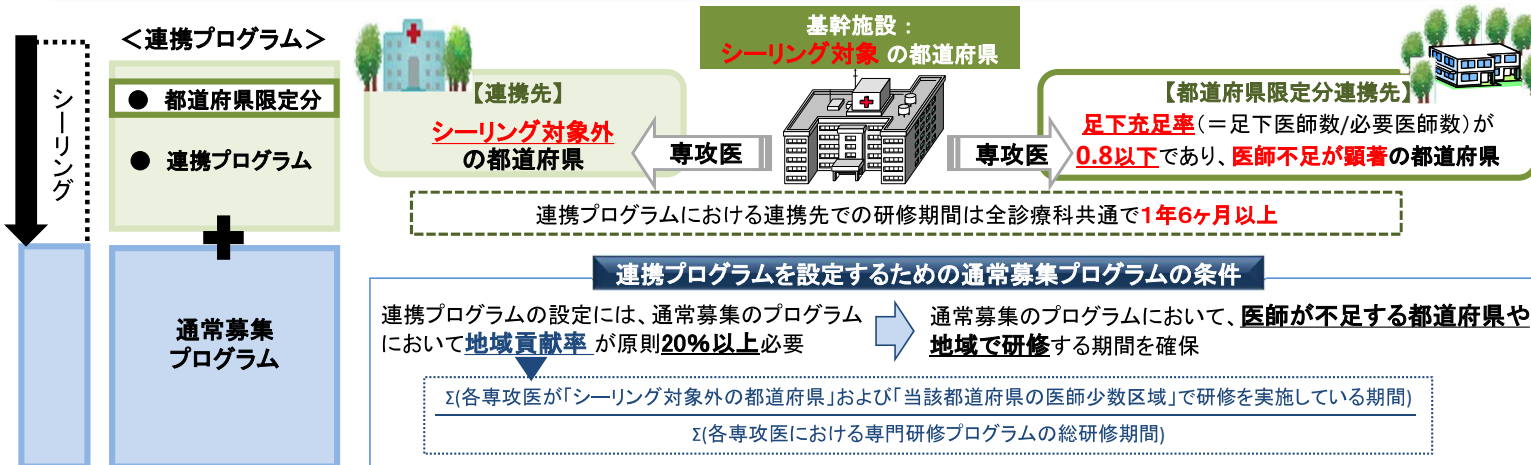
- ①又は②の医師のうち、専攻医期間に医師少数区域又は医師少数スポットで専門研修を行う予定の者。
 - ① 都道府県と卒業後一定期間、当該都道府県内で医師として就業する契約を締結した者(修学資金の貸与の有無を問わない)
 - ② 自治医科大学を卒業した医師
- 既に基本領域専門医を取得済みのダブルボード取得希望者。

連携プログラムの概要

基幹施設がシーリング対象の都道府県において、一定の条件の下、通常のプログラムに加え、**シーリング対象外の都道府県において1年6ヵ月以上研修を行うプログラム(連携プログラム)**を策定できるとされている。

＜見込まれる効果＞

- ① 基幹施設としては十分な研修体制を整備できない都道府県において、研修プログラムの一貫として勤務する専攻医が増加する。
- ② 連携プログラムを設置する前提条件を満たすため、通常プログラムにおける医師が比較的少ない都道府県や地域での研修期間が長くなる。
- ③ 多様な地域での経験を積んだ専門医が多く養成され、医師の質の向上にもつながり得る。



連携プログラムの計算方法

● **連携(地域研修)プログラム採用数**=

(過去3年の平均採用数－2024年の必要医師数を達成するための年間養成数) ×

● **都道府県限定分**=(過去3年の平均採用数－2024年の必要医師数を達成するための年間養成数)のうちの**5%分**

【連携(地域研修プログラム)の実績】

	連携プログラム	うち都道府県限定分
2020年	271	67
2021年	388	145

- 20%** : (専攻医充足率※1 ≤ 100%の診療科の場合)
- 15%** : (100% < 専攻医充足率 ≤ 150%の診療科の場合)
- 10%** : (専攻医充足率 > 150%の診療科の場合)

※1 診療科の専攻医充足率 = $\frac{\text{過去3年の専攻医採用数の平均}}{\text{2024年の必要医師数を達成するための年間養成数} \times \text{補正項}^{※2}}$

※2 補正項 = $\frac{\text{過去3年の平均数の全診療科合計}}{\text{年間養成数の全診療科合計}}$

令和6年度 特別地域連携プログラム連携先都道府県(実績)(詳細版)

令和6年3月28日時点 確定値

	内科※	足下充足率	採用元都道府県	小児科※	足下充足率	採用元都道府県	精神科	足下充足率	採用元都道府県	整形外科	足下充足率	採用元都道府県	放射線科	足下充足率	採用元都道府県	リハビリテーション科	足下充足率	採用元都道府県	総計
山形県	2	0.70/0.66	東京都2																2
福島県	1	0.71/0.69	東京都1																1
茨城県	9	0.68/0.70	東京都9				2	0.62/0.69	東京都2				5	0.53/0.53	東京都5				16
栃木県							1	0.65/0.72	東京都1										1
埼玉県	6	0.69/0.70	東京都5 大阪府1	2	0.74/0.78	東京都2				2	0.69/0.70	大阪府1 福岡県1	1	0.50/0.56	福岡県1	1	0.65/0.68	東京都1	12 ※
千葉県				3	0.76/0.77	東京都3													3 ※
新潟県	4	0.72/0.70	東京都2 大阪府2				6	0.68/0.67	東京都4 福岡県2										10 ※
総計	22 (21)			5 (3)			9			2			6			1			45 (42)

足下充足率: 2016年/2018年

※内科、小児科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。

()内は実人数

令和6年度 連携プログラム(都道府県限定分)連携先研修施設都道府県

令和6年3月28日時点 確定値

	内科 ※	採用元 都道府県	小児 科 ※	採用元 都道府県	皮膚 科 ※	採用元 都道府県	精神 科 ※	採用元 都道府県	整形外科 ※	採用元 都道府県	眼科	採用元 都道府県	放射 線科 ※	採用元 都道府県	形成 外科 ※	採用元 都道府県	リハ ビリ テー ション 科	採用元 都道府県	総計
北海道											1	東京都1							1
宮城県													1	東京都1					1
山形県											2	東京都1 大阪府1							2
福島県	1	福岡県1	4	東京都4															5
茨城県					1	東京都1			1	東京都1	2	東京都2							4
栃木県			3	東京都3			1	東京都1							1	東京都1			5
群馬県															3	東京都3			3
埼玉県	1	東京都1	3	東京都3	1	東京都1	4	東京都4	1	東京都1			3	東京都3	5	東京都5	1	東京都1	19
千葉県	5	東京都4 福岡県1	3	東京都3	9	東京都9	1	東京都1					2	東京都2	5	東京都5			25
福井県	1	京都府1																	1
静岡県	4	東京都2 京都府2	2	東京都2	2	東京都1 神奈川県1	2	東京都2			2	東京都1 京都府1							12
愛知県							2	福岡県1											2
滋賀県					2	京都府2													2
愛媛県							2	岡山県1 福岡県1											2
不明	(14)																		-
総計	12 (23)		15 (7)		15 (14)		12 (9)		2 (1)		7		6 (5)		14 (6)		1		84 (73)

※内科、小児科、皮膚科、精神科、整形外科、放射線科、形成外科は複数県で研修する専攻医が含まれるため、延べ人数を示す。
() 内は実人数